

はっほう

No. **81**
2026.7.24

議会だより



6月
定例会

郷土芸能披露～石川駒踊り～

- 議会新体制紹介…………… 2ページ
新人4名誕生
- 6月定例会ダイジェスト…………… 4ページ
議員選挙後の最初の定例会終了
- 町政を質す 一般質問…………… 6ページ
5名の議員が町の方針を問う

- 予算審査付帯意見回答…………… 12ページ
適切な予算執行に向けて
- おらほの議員ってこんな人…………… 14ページ
第1回目 薩摩議員、山本議員、菊地議員

おらほの議員ってこんな人 第1回/4回

議会議員（12名）を紹介します。今回は議席番号1～3番の3名の登場です。



さつ ま こう だい
薩 摩 晃 大
(1期目)

今までも郷土芸能や消防団、イベント事業などの活動をしてきましたが、これからは議員としてもたくさん
の町民と会話や交流をして、町を明るく元気にして
いきたいと思います。



やま もと しょう こ
山 本 昌 子
(1期目)

人間として生を受けたからには犬との暮らしを経験してみ
たい…という念願を叶えて、約三年前にジャックラッセル
テリアを家族に迎えました。最近では朝四時半に起こされて
います。誰もいない砂浜を全力で駆けまわり、海にも果敢
に入っていく姿を見て、八峰町で犬育てが出来て幸せだな
あと感じています。SNSでもワンコ暮らしを発信してお
り、都会から本当に羨ましいとコメントが集まります。
町内にドッグランがあれば最高ですね！



きく ち かおる
菊 地 薫
(5期目)

議員職と飲食業との両立で務めあげてきましたが、
まだまだ大丈夫、これからです。
人口減の中にあっても、元気に明るく、夢もてる
町づくりに向け、行政と議会と一体となって取り組ん
でいきます。

※次回は、議席番号4～6番（若狭敏春議員、福士久明議員、奈良聡子議員）を紹介します。

編集後記

今回の選挙では、4名の新人議員が当選を果たしました。議会の構成も大きく変わり、広報編集委員会も新人議員が3名加わり、新たなメンバーでの初めての編集となりました。

よく皆様から「議会の活動が見えない」「議員が何をやっているのか分からない」「などの意見を頂くことがあります。初当選以来12年間広報編集に携わってきた私にとって、非常に耳の痛い意見と受け止めております。

初めて委員長を務めるにあたり、議会や議員の活動を伝えることに重点をおいた編集を心がけてまいります。

(記 笠原 吉範)

● 議会広報編集委員会
委員長 笠原 吉
委員 伊藤 一
委員 薩摩 大
委員 若狭 晃
委員 福士 春
委員 久明

それぞれの立場から活発な議論 建設的で開かれた議会へ



山本 昌子(新) 須藤 正人(現) 鈴木 洋一 教育長 奈良 聡子(現)
 堀内 満也 町長 若狭 敏春(新) 菊地 薫(現)
 伊藤 一八(現) 山本 優人(現) 福士 久明(新) 笠原 吉範(現)
 薩摩 晃大(新) 皆川 鉄也(現) 田村 正 副町長 腰山 良悦(現)

議会議員選挙

新人4人、現職8人当選

任期満了に伴う町議選は、定数12名に対し、現職8名、新人5名の計13名が立候補し、4月19日に開票が行われ、新人4人、現職8人の当選が決まりました。

5月8日に初議会が行われ、議長に山本優人議員、副議長に笠原吉範議員を選出し、町長提案の議会選出監査委員に腰山良悦議員を選任しました。

また、各委員会の委員を選任し、正副委員長の互選を行いました。

議長 山本 優人



我が町八峰町のため

議長 山本 優人

先の臨時議会におきまして、議員各位のご信任を得て議長を拝命いたしました。身に余る光栄であり、その責務の重さを改めて実感しているところでございます。

近年、急激な人口減少により町の環境は大きく変化しているほか、中東紛争等による物価高騰、災害への備え、地域コミュニティの維持など、将来を見据えた取り組みが求められています。こうした課題に対し、行政への監視機能と政策提案機能を適切に果たしながら、町政の発展と町民福祉の向上に努めてまいります。

新議会は、議員討論による合意形成と円滑な運営に努め、活発な議会運営に全力で取り組みます。

今後とも、八峰町議会への温かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

新たな人事
決まる

議長 山本 優人

副議長 笠原 吉範

総務民生常任委員会

委員長 菊地 薫

副委員長 奈良 聡子

委員 若狭 敏春

福士 久明

皆川 鉄也

山本 優人

教育産業建設常任委員会

委員長 腰山 良悦

副委員長 伊藤 一八

委員 薩摩 晃大

山本 昌子

須藤 正人

笠原 吉範

議会運営委員会

委員長 皆川 鉄也

副委員長 伊藤 一八

委員 山本 昌子

若狭 敏春

須藤 正人

議会広報編集委員会

委員長 笠原 吉範

副委員長 伊藤 一八

委員 薩摩 晃大

若狭 敏春

福士 久明

能代山本広域市町村圏組合
議会議員

山本 優人

皆川 鉄也

須藤 正人

三種・八峰養護老人ホーム
組合議会議員

福士 久明

奈良 聡子

議会選出監査委員

腰山 良悦

6月

定例会

ダイジェスト

6月定例会（6月10日～12日）では、条例改正や補正予算など14議案を審議し、すべての議案が可決されました。

補正予算	条 例
5件	6件
請 願	物 品
1件	1件
報 告	工 事
3件	1件



補正予算

令和8年度 一般会計補正予算(第8号)
補正予算（歳出）の主な内容
○豪雪により破損した岩子生活改善センター 屋根アスベスト調査委託料および修繕工事費 1612万6千円
○「SEA TO SUMMIT」準備および開催経費 380万円
○ハタハタ館冷温水器配管等更新工事費 1600万円
○AIの活用による英語教育強化事業 229万円
○八森こども園地中熱ヒートポンプ修繕料 199万2千円

議会から町へ（質疑）

アスベスト調査費用に疑問

質問 調査費と修繕費用で1600万円は民間の感覚では非常に高額。詳細な説明を。
答弁 見積の段階において、アスベスト処分の対象と見込まれた為、事前に調査費用を計上。
質問 アスベスト除去を含めたとしても屋根の取り替えに1500万は掛りすぎ。予算の置き方に、もう少し慎重に配慮すべきでは。
答弁 調査費用は、試験のほか高所作業車使用のための費用も計上。
また、当センターは非常に大きな建物で、取り替える屋根は約400㎡で、その修繕費を計上。
(全会一致で可決)

条例議案

特定在留カード運用開始にあわせ
コンビニ交付での利用を可能に

議案の内容

○外国人の在留カードとマイナンバーカードを一体化した「特定在留カード」が、このたび運用を開始する。これにあわせ、「特定在留カードおよび特定特別永住者証明書」でのコンビニ交付を利用した印鑑証明書の交付を可能とするため、印鑑登録条例の一部を改正する。

コンビニ交付サービスの利用

【現行】
マイナンバーカード
スマートフォン

【改正後】
マイナンバーカード
スマートフォン
+
特定在留カード
特定特別永住者証明書

令和8年6月14日運用開始

議会から町へ（質疑）

質問 町の外国人登録者数と就労状況は。
答弁 町の登録外国人人数は53名、うち在留資格が技能実習の人数は36名。

反対討論

富士 国が定めた制度だが、外国人労働者が安心して就労できる制度になっていない。また、申請手数料を現行より大幅に値上げするようだ。もっと外国人を大事にする政策を求める。
(賛成多数で可決)

請願



補正予算:「SEA TO SUMMIT」チラシ

(自然ネットワークあきたから提出)

○ツキノワグマの市街地への出没増加対策の財源として、森林環境譲与税の積極的活用を検討することを求める請願書

紹介議員趣旨説明

奈良

全国的にクマの市街地への出没が多発、人身被害が相次いでいる。林野庁は、税の活用事例として、対策を示した。緩衝帯整備などにも活用することで、森林の公益的機能強化という税の目的に適い、住民の安全に資すると思われる。

反対討論

笠原

林野庁のHPの資料によると、森林整備や林内での作業従事者の安全確保に対する費用を計上できるとある。市街地に出没するクマ対策に充てるというのは、趣旨に沿っていない。もちろん市街地への出没は、阻止しなければならぬが、この税の趣旨に沿っていないため、反対する。
(賛成少数で不採択)

子ども・子育て支援金制度創設
総額では負担軽減へ

議案の内容

○支援金制度の創設に伴い、当該課税額にかかる各種税率を新たに創設。トータル的に国保税の負担増とならないよう、他の税率区分においても税率を見直しするなど、国民健康保険条例を改正する。

議会から町へ（質疑）

質問 限度額へ達した方は今年度何人いるか。
答弁 今年度は、本議案可決後の算定。6年度到達世帯は、医療分10、後期支援分7、介護分16。同じく7年度、医療分24、後期支援分18、介護分20。

反対討論

富士 減免世帯は、支援金制度による上乗せをしても減額になり大変良い。
しかし、限度額が113万円に増額。昨年より4万円も増額となることに反対。
(賛成多数で可決)



○：賛成 ●：反対

議員氏名	薩摩晃大	山本昌子	菊地 薫	若狭敏春	富士久明	奈良聡子	腰山良悦	伊藤一八	皆川鉄也	須藤正人	笠原吉範	山本優人	議決結果
議案													
八峰町印鑑登録条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません	可決
八峰町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません	可決
ツキノワグマの市街地への出没増加対策の財源として、森林環境譲与税の積極的活用を検討することを求める請願書	●	○	○	●	●	○	●	●	●	●	●	議長は採決に加わりません	不採択



笠原 吉範 議員
よしのり
かさらは

笠原 遠距離地区の児童生徒にはスクールバスが運行されているが、近隣地区は対象外のため徒歩や自転車での通学となっている。

しかし、昨今は通学路へのクマの出没が相次ぎ、安全な通学が極めて困難な状況であり、

クマ対策通学路の安全確保を 教育長 スクールバス 対応検討

今年度徒歩圏内の児童生徒数は、八森小14名・峰浜小26名・八峰中28名。全員を対象とする場合、新規ルートの設定やバスと運転手の確保、費用の捻出等の課題があり、どのような形で運行出来るかを調査し、2学期から実施出来るよう検討していく。

また、国や県に対し、児童生徒の安全確保に係るクマ対策費用の支援を要望していきたい。それまでの間は、保護者の方々に大変負担をかけているが、引き続き送迎や見守りをお願いしたい。

教育長 現在クマの出没が確認された場合は、学校から保護者にメールで連絡し、徒歩圏内では自家用車の送迎、スクールバスにおいてはバス停から自宅までの見守りを保護者にお願している。

児童生徒全員を乗車させるには、様々な課題があることは承知しているが、クマの出没という安全面でのリスクを考慮した通学支援が必要である。



スクールバス



↑議事録はこちら

掲載している内容は、広報編集委員会で要約・校正したものです。全文が掲載された議事録はホームページでご覧いただけます。

6月定例会の会議録については作成中です。完成後すぐに掲載いたします。

ここが聞きたい

ただ 町政を質す!! 5人の議員が一般質問

6月定例会では5名の議員が町政について質問しました。

p7 笠原 吉範 議員

- 1 徒歩圏内の児童生徒のスクールバス乗車について

p8 山本 昌子 議員

- 1 巡回バスおよびデマンド型乗合有償運送の利用状況について

p9 薩摩 晃大 議員

- 1 熊対策として放任果樹伐採補助制度の創設について
- 2 しいたけ廃菌床のバイオマス活用による地域循環型まちづくりについて

p10 福士 久明 議員

- 1 子ども・子育て支援制度による国保税増額世帯に軽減を
- 2 町内循環型バスの走行を
- 3 低所得者向けエアコン設置を

p11 奈良 聡子 議員

- 1 「八峰町再生可能エネルギーの利用を目的とした施設の建設に関する手続きガイドライン」の見直し等について
- 2 高齢者向け集合住宅について
- 3 持続可能なまちづくりと関係人口について



改選後初の一般質問に大勢の傍聴者が来庁

一般質問とは？

町のさまざまな課題について、議員が住民の声や自身の考えを元に、提案も含めて町の方針を問うものです。



さつま 薩摩 議員



放任果樹伐採

薩摩 敷地内の柿の木にクマが出没し、地域の安全のためやむなく伐採を決定したが、町の補助対象外とされ約10万円を全額自費で負担したとの相談を受けた。能代市では放任果樹の伐採に助成金を交付して

町長 課題の整理を
早急に行う

放任果樹伐採補助制度 の創設を

町長 本事業における危険な樹木の伐採は、倒木による二次災害防止を目的としており、クマ対策としての活用は制度上難しいと考える。ただし、放任果樹がクマを誘引する原因でもあることから、課題の整理を早急に行い、

***安心安全なまちづくり推進事業**
災害等による被害を防ぐため危険な構造物の改修工事や危険木の伐採等に補助金を交付する。

町長 有効活用の可能性について幅広く研究

「いたけ」廃菌床を バイオマス燃料に

薩摩 年間約2900tの廃菌床が町内では発生。現状では農家がコストを負担し、産廃として処分するほかなく、経営を圧迫している。長崎県島原市・西海市では、廃菌床をバイオマスボイラーの燃料として活用している。

町長 廃菌床の有効活用は意義のある取り組みと考える。

一方で、回収・乾燥・運搬・燃料品質の均一化・設備の維持管理など多くの課題がある。

イニシャルコストは国の補助が見込めるが、ランニングコストの精査も必要である。可能性を否定するものではなく、先進事例における運用状況なども検証しながら、幅広く研究を進める。

***バイオマス**
動植物から生まれた「再生可能な有機性資源（化石燃料は除く）」のこと



やまもと 山本 昌子 議員

巡回バス、 ダイヤ改正は適切か

町長 継続的な改善に
努めている

山本 巡回バス及びデマンド型乗合有償運送は導入から3年半が経過した。75歳以上の町民が人口の32%、約1800人を占める本町では地域公共交通は「移動の足」であると同時に「生活の基盤」であり、重要性は年々高まっている。

今年4月のダイヤ改正にあたりどのような課題認識を持って見直しを行ったのか。

町長 改正の内容は、水沢橋の通行止めを受けたルートに加え、利用者から寄せられた「能代市との接続の不具合」を

企画政策課長

巡回バスを使って利用する町民には、デマンド交通と、五能線の利用も合わせて考えてい

解消するため、全体的な発着時間を見直した。これまでも利用者からの意見を検証し、継続的な改善に努めている。「能代市への接続が便利になった」と評価を受けている。一方で「ハタハタ館に到着後、次の便までの時間が短い」等の指摘もある。今後も利用者の声にしっかりと耳を傾け、町民の皆様の生活の基盤として機能するよう取り組む。

山本 ダイヤ改正により、ハタハタ館での温泉利用、買い物、町民限定200円の水曜入浴サービスといった町民の楽しみや健康増進の機会が大きく制限されていると思うが。

町長 地方公共交通は、能代市との接続の関係もあり町単独で決めることは難しい。

一方で利用促進の観点から、水曜日の利用者は、増えてきている。ハタハタ館側で水曜日限定のバスを運行する場合、利用人数や運転手の確保など課題はあるが、少しずつクリアしていきながら利用促進に努めていきたい。

ただくという形で対応している。

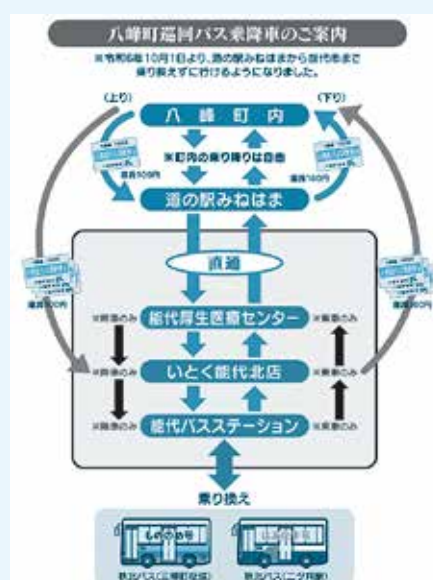
山本 ハタハタ館は町の重要な観光交流施設。町民の利用促進は、売上向上や地域経済の循環に寄与する。

この視点をダイヤ改正にどの程度反映できる可能性があると考えられているのか。



ハタハタ館へ停留する巡回バス

八峰町巡回バス
時刻表はこちら





ふく し きゅうめい
福士 久明 議員

国保税増額世帯に 軽減を

町長 国保運営協議会に
諮り適切に対応

福士

「子ども・子育て支援金制度」が創設され、国保税の高額限度額が113万円になる。資材高騰により農業経営が圧迫され、設備投資なしでは大規模化ができない。国保税率を見直さないか。

町長

国の試算では段階的に増額と示されている。町では、18歳以下は全額軽減され実質負担はなし。今後とも安定した財政運営により持続可能な国保制度を維持していくため、国保運営協議会に諮りながら適切に対応していく。

町内巡回バスの 利便性向上を

町長 社会環境の変化に
応じ柔軟に見直す

福士

公共施設等を利用するのに高齢者や免許返納者は移動に不便を感じている。温泉や大型店舗に行ってみたいという声がある。町内循環バスは交流人口にも繋がるのではないか。

町長

予算の範囲内で運営しているため運行便数は十分とは言えないが、定額利用の巡回バスやデマンド運送を合わせて活用願いたい。今後の公共交通のあり方については、社会環境の変化に応じて柔軟に見



巡回バス

直しを行うべき事業であると認識している。

7万円にして、誰もが熱中症にならない対策を考えないか。

町長

65歳以上のみで構成される世帯、障がい者のいる世帯で、かつ住民税非課税世帯が対象である。広報やホームページなどを通じて制度の周知に努める。

八峰町住まいづくり
応援事業

詳細はこちら



再エネガイドラインの 見直しを

町長 必要な事項を
盛り込むよう検討

奈良

町内の太陽光発電施設が認定地点とは異なる場所に設置されていたとして、F-I-T認定が取消しとなった。この発電事業者は、中国系企業と見られることや、パネルの撤去費用を積み立てていない事が判明。

*F-I-T認定

再エネの発電電力を、国が一定価格・一定期間買取の制度を利用するために、経産省から事業計画の認可を受けること

町長 今後、町と
しては維持管理の明確化や事故発生時の対応事項を盛り込むことを検討。
県や自治体と連携しながら、点検制度の見直しや、F-I-T認定に係る情報共有の充実、確認体制の強化について、国や関係機関へ働きかけていく。



当該のソーラーパネル

スタディーツアーの 実施を

町長 受け入れ側の負担が
大きい

奈良

積極的かつ戦略的に関係人口を増やし、町の活力につなげるべき。地域課題発見・解決提案型のスタディーツアーを。

町長

受け入れ側の一時的な負担が大きいという課題も存在する。まずは学生人材が地域に深く関わるインターンシップで質の向上と基盤強化を図り、検証結果の蓄積に努めていく。

*スタディーツアー

観光も兼ねた地域課題発見・解決提案型の旅行

*インターンシップ

学生が就業体験を行う制度やプログラムのこと



な ら さと こ
奈良 聡子 議員

高齢者向集合住宅の 需要把握を

町長 民間主体が適当

奈良

高齢者向け集合住宅に對する見解は、対象者に住まいに関するアンケート調査の実施を。

町長

この集合住宅の整備は、民間事業者が主体的に

実施していくことが適当。アンケート調査は現時点において実施していないが、『ケアハウスぶなの森』は軽費老人ホームとして、その役割を果たしており、周知していきたい。



東大生のインターンシップ

適切な予算執行に向けて

3月議会で予算特別委員会から町に提出した付帯意見に対し、町当局から回答が届きました。要約してご紹介します。（※回答は令和8年6月10日現在のもの）

意見1

ジオパーク推進事業の今後について

ふるさと学習など教育面での成果は認められるが、日本ジオパーク認定後の波及効果を見極め、世界自然遺産白神山地との一体性を図りながら、教育のブランド化を主体とした将来的なビジョンを策定すべきではないか。

回答

八峰白神ジオパークは「白神の恵みに生きる」がメインテーマであり、町全域をエリアとしている。
それまでの所管を、令和6年度より教育面での取り組みを強化するため、生涯学習課へ移行した。
これまでに取り組んできたリゾートしらかみ車内ガイドや町内小中学校でのジオ学習に加え、関係団体等の研修会へガイドを派遣するなど、ジオパークの魅力を広げる機会の拡

大に注力。

特に、ジオ学習では、現地での体験型学習にて、地域の価値を科学的・文化的な視点で学び、地域への誇りの醸成に寄与すると考えている。

一方で、町民のジオパークへの興味や認知度は高まらず、地域に根差した活動の展開を図ることも重要。今後は、関係自治会と連携した事業など、様々な機会を捉えて普及啓発に努める。



親子ジオ学習の様子

また、白神山地との深い関わりから、これを取り巻く関係自治体との連携の可能性を探っていく。

なお、将来的なビジョン策定は、現行の基本計画に基づき、教育のみならず、保全・ツーリズムも含めた各種事業を推進していく。

意見2

あきた白神体験センターの運営について

利用者増につなげるため、積極的な営業活動は評価するものの、年々児童・生徒の減少が続くことが明らかである。施設の運営にあっても多額の町負担となっており、指定期間の最終年度を迎え、県に対して応分の負担を求めるなど、今後の運営に関する協議を早急に進める必要がある。

回答

当センターは、平成19年に県の指定管理を

受け、20年。この間、白神山地や日本海を間近に臨む抜群のロケーションの中、環境を活かした自然体験や、地域連携によるソバ打ち、郷土料理づくりなどの体験活動を提供し、青少年教育施設として児童生徒の健全育成、生涯学習の場の提供に十分寄与している。

ご意見のとおり、開設以来、町費の繰り入れが続いており、ここ数年は、繰入額が大きい状況。

県は「県立社会教育施設の再編等に向けた基本的な方針」を策定。その中で、当センターを含めた施設について、令和8年度以降にワーキング検討委員会を設置し、施設の集約化などについての計画を策定している。

このことから、次年度以降の指定管理に向けて、利用料や開館体制等の見直し、指定管理料の増額を要望するなど県との協議を進めていく。



あきた白神体験センター

なお、長期社会体験研修員の派遣についても引き続き要望していく。

議会全員協議会から

6月1日（月）に開催され、4件の協議と4件の報告を受け付けました。今回は協議の内容をピックアップして掲載します。

【協議1】 広域官民連携・環境スポーツイベントについて

町からの説明

モンベルと自治体の共同で実施する環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」を白神エリアで初開催。スタートは八峰町、ゴールは深浦町、県境をまたぐ連携事業となる。イベントの実施経費のほか、宿泊先となるハタハタ館の冷暖水配管の配管等更新工事費を補正予算として計上予定。

議員から町へ（質疑・意見）

問 当町での宿泊受け入れ予定数は。
答 宿泊先は参加者自身が選ぶ形になる。町に宿泊する人数は30〜40名を見込む。

問 来年度以降も定期的なイベントとして実施するのか。
答 今年のメイン会場は深浦町だが、来年は当町が担い、順番を変えながら継続していきたい。

【協議2】 ハタハタ館指定管理者の公募（案）について

町からの説明

現在の指定管理先であるハタハタの里観光事業との契約が今年度で終了することから、次年度以降の指定管理先を公募により決定したい。

議員から町へ（質疑・意見）

問 指定管理料は5千万円、20万円超の修理修繕費が町負担では、町の財政負担は今までと変わらないのではないかと。
答 現在の修繕費は10万円超を町負担。全国的にも20万円が一般的な数字だと考える。

問 産直ぶりは公募条件に含めないのか。
答 隣接施設のため、正式に公募を出す前に協議し、必要であれば条件に加えて公募したい。

【協議3】 住まいづくり応援事業の拡充について

町からの説明

高齢者世帯等では経済的理由などにより、エアコンを利用できないケースが見られ、住まいづくり応援事業に、設置費用に係る補助を追加する。

議員から町へ（質疑・意見）

問 4月5月に設置した人は補助の対象にならないのか。遡っての対応を。
答 当初予算内での対応しており、事業の拡充のため、遡って対象としたい。

今月の表紙 石川駒踊り



6月23日に行われた町政20周年記念式典では、石川地区の伝統芸能、「石川駒踊り」が披露されました。

9月議会定例会お知らせ

9月 1日(火)	本会議 1日目	行政報告	議案審議ほか
9月 2日(水) ～ 8日(火)	令和7年度決算特別委員会		
9月 9日(水)	本会議 2日目	一般質問	
9月10日(木)	本会議 3日目	一般質問	※休会の場合あり
9月11日(金)	決算特別委員会の審査報告、付託議案審議ほか		

※開会は10時からです。終了時間は議案数、一般質問者数、進行等によるため未定です。
※議会では町民の生活に直結した重要な問題を審議しています。どなたでも傍聴できますので、お気軽におこしください。また、団体での傍聴を希望する場合は、議会事務局へご連絡ください。
※傍聴は、本会議場で受け付けています。（問合せ先：議会事務局 76-4607）